

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所入所定員の拡大						掲載ページ
							44
コスト	事業費	平成26年度執行額 646,616 (繰越605,866) 千円	平成27年度予算額 913,929 (繰越304,029) 千円	政策分野 施策名	仕事と子育ての両立支援 保育サービス	担当局 担当課	子ども家庭局 保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所が特に不足する地域について、民間保育所の新規開設や既存保育所の定員増を行い、年間を通じた待機児童の解消と、年度当初における定員超過入所の状況の解消を目指します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	平成22年2月に策定した「元気発進！子どもプラン」に基づいて、計画的に保育所入所定員の拡大を図ります。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	民間保育所の整備箇所数					
	民間保育所の新規開設や既存保育所の増改築等を実施した保育所箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 (最終目標と最終年度)	2 箇所	9 箇所	9 箇所 100.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック    <b>順調</b>
	(最終目標と最終年度)					

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	2箇所の民間保育所の新規開設と7箇所の既存保育所の増改築を行いました(別掲の「計画的な老朽改築等の推進事業」において、このうち4箇所を整備)。この結果、現在、年度当初の入所児童数は定員を下回っており、市全体では概ね保育需要に対応できる状態にあるため、順調としました。しかし、一部地区では、年度中途から待機児童が生じており、更なる入所定員の拡大に向けて、取り組む必要があります。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	福岡県の「安心子ども基金」を活用して事業を実施しています。(市負担:1/12) また、新規開設の保育所は、全て民間保育所を対象にしています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
平成26年11月に策定した「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」に基づいて、民間保育所の新規開設や既存保育所の老朽改築等にあわせた定員増を行います。 ・平成27年度に事業着手している保育所 ◇民間保育所の新規開設 … 1箇所 定員増計70名(小倉南区 ※ 平成29年3月開所予定) ◇既存保育所の増改築 … 6箇所 定員増計70名 (折尾丸山保育所、牧山保育園、聖母園 ※ 平成27年度中竣工予定) (到津保育所、藤松保育園、洗心保育園 ※ 平成28年度中竣工予定)

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	直営保育所の再編・民営化						掲載ページ
							44
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保育所運営の効率化と機能の集約・強化を図るため、児童数の減少等に伴う近隣の保育所との統合や、老朽化した施設の建て替え等に合わせ直営保育所の民営化を行い、施設の再編を進めます。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	平成22年2月に策定した「元気発進！子どもプラン」に基づいて、計画的に直営保育所の再編・民営化を図ります。 具体的には、平成22年度から平成26年度までの5年間で、直営保育所4か所の民営化と1箇所の統合を図り、18か所に再編します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	直営保育所の再編・民営化箇所数（直営保育所の箇所数）			1 箇所 (19)	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	直営保育所の再編・民営化を実施した箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。  (最終目標と最終年度)再編・民営化箇所数5箇所(直営保育所数18箇所)(平成26年度)	1 箇所 (20)	2 箇所 (18)	50.0 %		
					順調	順調
(最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「元気発進！子どもプラン」で予定していた折尾保育所の民営化は、保育所移転先における開発事業の遅れという外的要因により実施できませんでした。一方、修多羅保育所については、プランどおり統合を実施したことから、総合評価を順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の再編・民営化を進めることにより、保育所運営に係る市負担額の軽減と、保育所運営の効率化を図っています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
平成26年11月に策定した「元気発進！子どもプラン 第2次計画」に基づいて、計画的に直営保育所の再編・民営化を図ります。 具体的には、平成27年度から平成31年度までの5年間で、直営保育所5箇所の民営化と1箇所の統合を図り、13箇所に再編します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	産休明け保育等の対応の強化(家庭保育員、乳児保育の拡充)						掲載ページ
							45
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		81,331 千円	218,148 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	産休明けを含む乳児期の保育ニーズに対応するため、生後57日目から保育を行う家庭保育員の増加を図るとともに、一般の保育所において、段階的に概ね3ヶ月から乳児を受け入れます。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	公募による新規募集により、家庭保育員を3名増員します。					
指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
家庭保育員数		19 人	20 人	18 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
保育の需要が見込まれる地域を考慮して事業を実施した家庭保育員数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 (最終目標と最終年度)20人、平成26年度				90.0 %		
一般保育所での生後3ヶ月からの入所受入		—	—	—	順調	順調
受入可能な保育所があるかの検討、調整を行います。 (最終目標と最終年度)				遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	H25年度末の退職者が1名、H26年度途中の退職が1名あり公募を行った結果、1名の補充ができました。目標数には達していないものの、保育ニーズに対応できたことから順調としました。産休明け保育に対応できる保育所は他にはなく、定員は1ヶ所5名以下であり、家庭的な雰囲気での保育を希望する保護者も多いため入所率は9割近く、効果は高いと考えます。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育所の新規開設に比べ、施設整備費はかからず、保育に対する市の負担額も低いため経済面での効果はよいと考えられます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
引き続き産休明け保育などのニーズに対応するため、「元気発進！子どもプラン(第二次計画)」に基づき、子育てサービスの充実を図ります。一般保育所において、概ね生後3ヶ月から乳児を受け入れることを検討します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	計画的な老朽改築等の推進						掲載ページ		
							45		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		468,586	千円	257,849	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	民間法人の協力のもと、老朽化の進む施設を対象に、計画的な施設の改築などを行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	耐震診断の結果、改築が必要と診断された保育所3施設(みのり保育園・小倉南区、岩崎保育園・八幡西区、花かご保育園・門司区 ※すべて平成25年度繰越)及び、老朽化した竜光保育園(小倉南区・平成25年度繰越)の増改築を行い、合わせて多様な保育ニーズへの対応や保育環境の充実を図ります。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	計画的な施設の改築	2 施設	4 施設	4 施設 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	老朽化した施設の改築による保育環境の改善・充実、入所児童等の安全の確保といったニーズに対応する必要があることから、指標としました。 (最終目標と最終年度)						
					順調	順調	
(最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	予定の4施設については、予定通り整備が完了したことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国の安心子ども基金を最大限活用し、市負担の軽減を図りながら、保育環境の向上に努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
平成26年度からの繰越である聖母園(小倉南区・老朽改築)については、平成27年10月ごろの竣工を予定しています。また、平成27年度当初予算にて整備予定の清心保育園(八幡東区・耐震診断結果による改築)については、平成27年8月着工及び平成28年3月の竣工を予定しています。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所等耐震対策						掲載ページ
							45
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		8,559 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのよう状態にしたのか	子どもたちの安全を確保する目的で、昭和56年5月31日以前の旧耐震基準により建築された保育所等の施設のうち、耐震改修および耐震診断未実施の保育所等施設について、耐震診断(二次診断)を計画的に実施し、必要に応じた耐震対応を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	民間保育所(23所)について、耐震診断(二次診断)を実施します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	耐震改修および耐震診断未実施の保育所の耐震診断実施施設数(民間) 旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)により建築された民間保育所が、地震に対してどの程度の耐久性を有しているかについて調査します。 耐震診断を実施した民間保育所箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 ※調査対象施設:聖愛保育園ほか22所 (最終目標と最終年度) 全施設の診断 平成26年度	14 所	23 所	18 所 78.3 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
					順調	やや遅れ
	(最終目標と最終年度)			#DIV/0! %	遅れ	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	26年度においては、民間保育所18所で耐震診断(二次診断)を実施しました。旧耐震基準により建築された保育所等施設の地震に対する耐久性を見極めるうえで、有効な診断結果を得ることができましたが、スケジュールの都合等から、当初計画23所すべての実施ができなかったことから、やや遅れとしました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	民間保育所については、補助金を活用することによって、市の財政負担軽減を図りながら、耐震診断を進めており、「経済性」に優れた取り組みを行うことができたと考えています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
予算事業としては、耐震診断は平成26年度で終了しましたが、未実施の5施設について施設との協議を行い、平成27年度の実施を図ります。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所園庭の芝生化						掲載ページ		
							H23年度新規		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		7,917	千円	5,525	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 元気な子どもたちの育成を目的とし、跳んだりはねたりできるよう、保育所園庭の芝生化を推進します。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。				
活動計画	市内全保育所に対し、公募制により、保育所園庭の芝生化を実施します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	園庭芝生化実施箇所数	11 箇所	5 箇所	5 箇所	100.0 %	大変順調
	保育所園庭芝生化事業を実施した保育所箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）					
						順調
					やや遅れ	
					遅れ	順調

## 【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	当初の計画通り、5箇所において園庭芝生化を実施したため、順調としました。今後は維持管理に向けてのサポート体制の確立が課題となります。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	当該事業はNPO法人と協働体制で実施しており、NPO法人の特性を活かして経済性・効率性の向上を図っています。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

引き続き、芝生の整備や維持管理を通して、地域やNPO法人との協働による地域コミュニティの向上や子どもたちへの環境教育も推進していきます。整備箇所については、平成26年度同様に公募制で実施します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	認定こども園整備事業						掲載ページ		
							H26年度新規		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		16,500	千円	66,000	千円	施策名	保育サービス	担当課	幼稚園・こども園課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	教育・保育施設の利用状況や利用者の希望とともに、事業者の意向などを踏まえ、認定こども園の普及を図ることで、教育・保育の質の向上や、保育料の拡充を図り、待機児童の解消を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	認定こども園の施設整備を行う幼稚園に対して費用の一部を助成します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	認定こども園への施設整備を行う幼稚園数	-	5 施設	1 施設	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	認定こども園を整備することにより、教育・保育の質の向上や、保育の量の拡充を図ることにつながると考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)21施設(平成31年度)			20.0 %			
	(最終目標と最終年度)			%	順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	認定こども園への移行を希望した幼稚園数は想定より少なかったため、目標には達しませんでした。が、事業者の意向を踏まえ、平成26年度に施設整備を希望した事業者に対しては、予定通り事業を実施することができたことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	福岡県の「安心こども基金」を活用して事業を実施しています。(市負担:1/12)

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
「北九州市 子ども・子育て支援事業計画」においては、平成31年度までに21施設の事業実施を目指しており、引き続き教育・保育施設の利用状況や利用者の希望とともに、事業者の意向などを踏まえ、認定こども園への移行支援・普及に努めていきます。 認定こども園の移行について、事業者が的確に判断できるよう、制度の周知・説明・相談等を幼稚園と実施して行きます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	小規模保育事業の実施						掲載ページ
							H26年度新規
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		271,695 千円	974,224 千円	施策名	保育サービス	担当課	幼稚園・こども園課 保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	年度途中の入所が困難な3歳未満児の保育ニーズに対応するため、小規模保育事業を実施し、待機児童の解消を目指します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	小規模保育事業を実施する幼稚園・保育所等に対し、運営費及び施設整備費の一部を助成します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	小規模保育事業所の実施箇所数	-	18 箇所	11 箇所	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動を参考にして、活動の状況をチェック
	小規模保育事業所を整備することにより、保育の量の拡充につながると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）47箇所（平成31年度）			61.1 %		
（最終目標と最終年度）						

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度の先取りとして小規模保育事業の実施に取り組み、11事業所を整備しました。 事業を開始するための施設整備に時間を要したため、目標には達しませんでした。さらに3施設の整備にも着手するなど、事業者の意向を踏まえ、平成26年度に施設整備を希望した事業者に対しては、予定通り事業を実施することができたことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	福岡県の「安心こども基金」を活用して事業を実施しています。（市負担：1/12）

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成31年度までに47箇所での事業実施を目指しており、引き続き小規模保育事業所の開所促進や運営支援に努めていきます。